

第9期 pES club step4 大会歯学生シナリオ

平成22年6月20日

慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室

大石 匠

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

あなたは黒蘭歯科大学附属病院歯科・口腔外科に勤務する2年目研修医です。

今日から、研修中ずっと診療してきた亀内 緒久葉さん（60歳、女性）の義歯作製を始める予定です。亀内さんは全顎的に中等度の歯周炎で1年ほど前に初診となりましたが、臼歯部の骨吸収が著しく、抜歯の適応となる歯が多数ありました。あなたは上級医とともに懸命の歯周治療を行いました但改善がみられなかったため、やむを得ず先月、以下の歯を抜歯しました。

7 6 5		
<hr/>		
		4 5 6 7

抜歯窩の治癒は良好で、感染所見もありませんが、食事には大変困っているようです。現在の残存歯は以下の通りです。

4 3 2 1		1 2 3 4 5 6 7
<hr/>		
7 6 5 4 3 2 1		1 2 3

亀内さん「前歯だけはなんとか噛めますけど、奥歯がなくなると今まで食べられたものも全然食べられなくて、おいしくないですね・・・」

あなた「今日から入れ歯を作り始めますから、あともう少しの辛抱ですよ。今までと全く同じとはいきませんがね。」

亀内さん「あの、ひとつ伺いたいんですけど、最近聞くインプラントってできないんですか？歯がある人と同じだけ噛めるってこの病院のパンフレットに書いてあったんですけど。保険がきかなくても、また噛めるようになるならお願いしたいと思って。」

あなたと上級医がインプラントと義歯の構造、それらの利点、欠点を十分に説明したところ、亀内さんはインプラントを希望すると答えました。

あなたは亀内さんに、抜歯後1か月以降のインプラント治療の流れについて、補綴処置まで含めて説明することにしました（上顎臼歯については、サイナスリフトの説明もしてください）（10分間）。